

# 自治会アンケート調査 まとめ

令和4年11月

日野市企画部地域協働課

## はじめに

日頃より市政の運営につき格段のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
また本調査においても、お忙しい中、ご協力いただいた多くの自治会長及び役員の皆様には心から感謝申し上げます。

さて、今年8月下旬に市内235全自治会に対して、アンケート回答依頼の通知文を発送し、そのうち144自治会からご回答をいただきました。

今回の調査結果を自治会活動の参考にお役立ていただくとともに、コミュニティ行政にも活かしていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

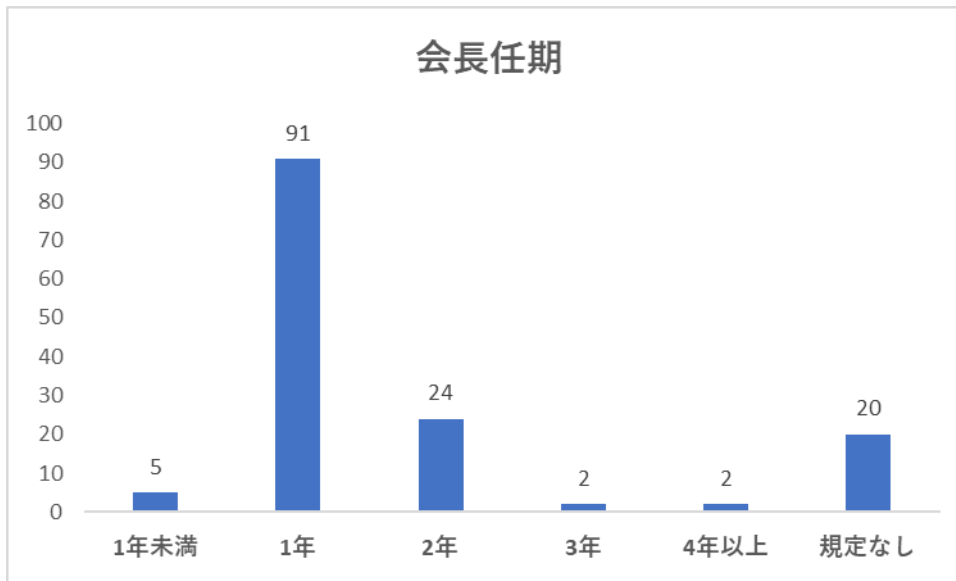
令和4年11月

日野市企画部地域協働課

### 自治会アンケート調査概要

対 象：日野市内全自治会（235団体）  
方 法：郵送によるアンケート調査  
時 期：令和4年8月25日～9月30日  
回 収 率：61.3%（144件）

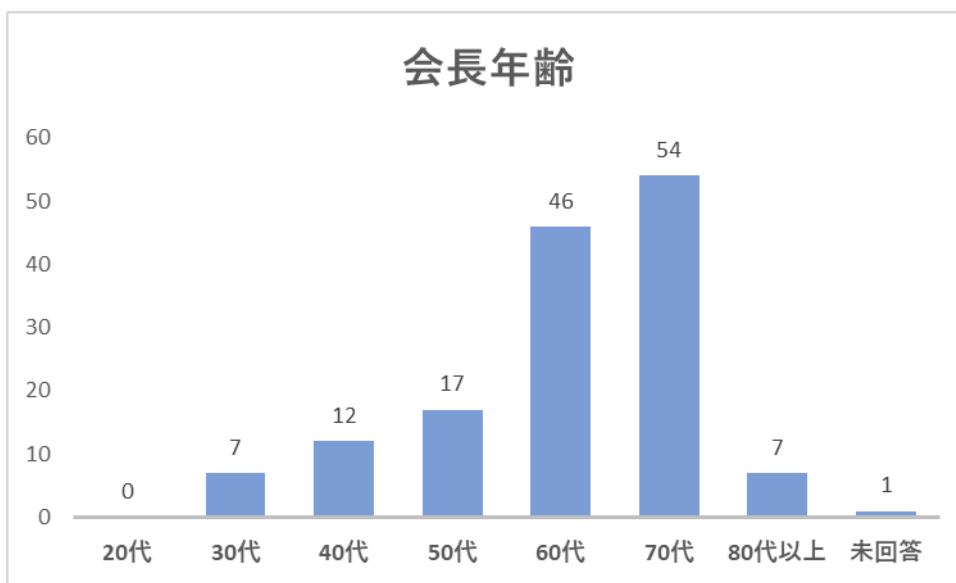
問1：自治会長の任期についてお聞きします。



自治会長の任期は、「1年」という自治会が一番多く、「1年未満」と合わせると、約66%を占めています。

会長（役員）任期は、短いほうが引き受けやすくなり、多くの方に自治会長を経験してもらうことができるといった面があります。一方で任期を複数年とすることにより経験、知識を生かすことができるため、単年では解決できない課題に取り組むことができることがあります。

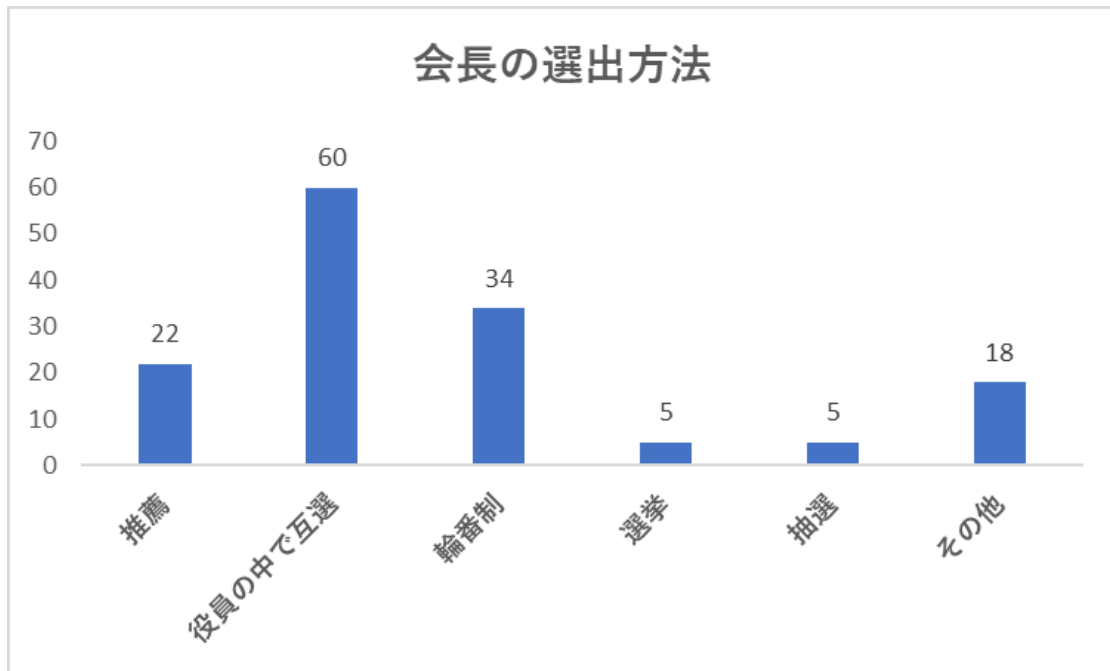
問2：現在の自治会長の年齢についてお聞きします。



自治会長の年齢は「60代」以上が約74%を占めています。

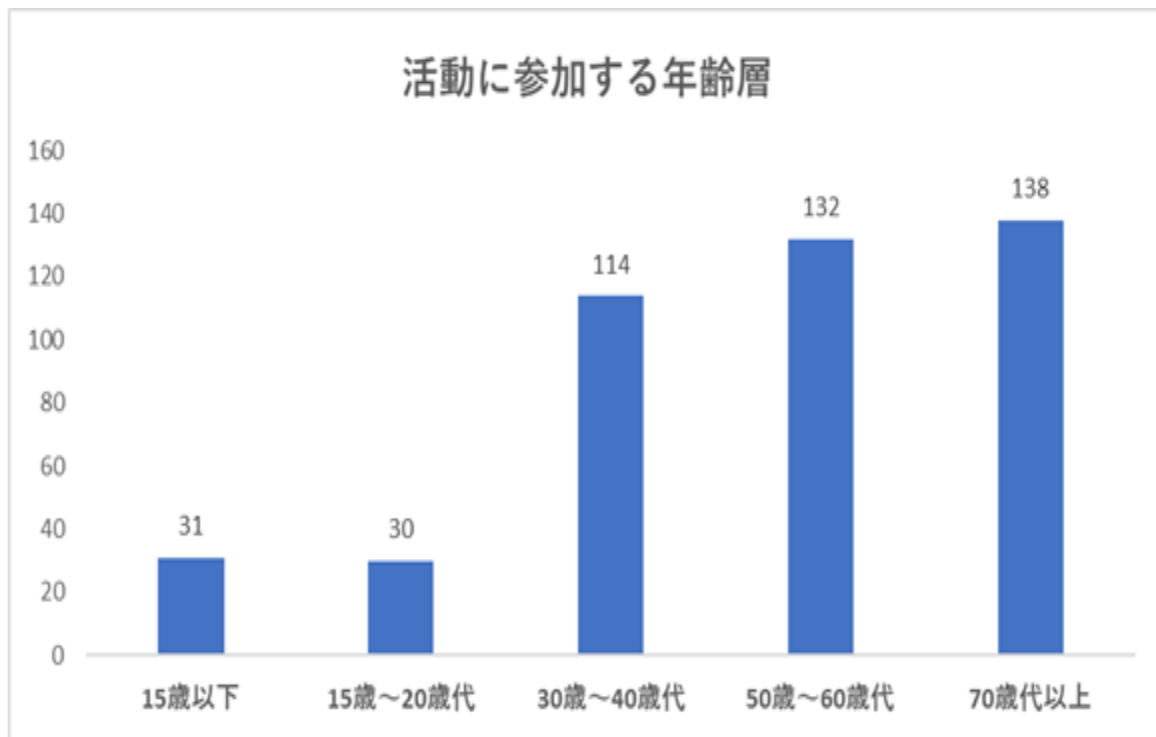
今まで培ってきた人生経験を生かして、地域の課題解決の担い手となっていることがわかります。

問3：自治会長の選出方法についてお聞きします。



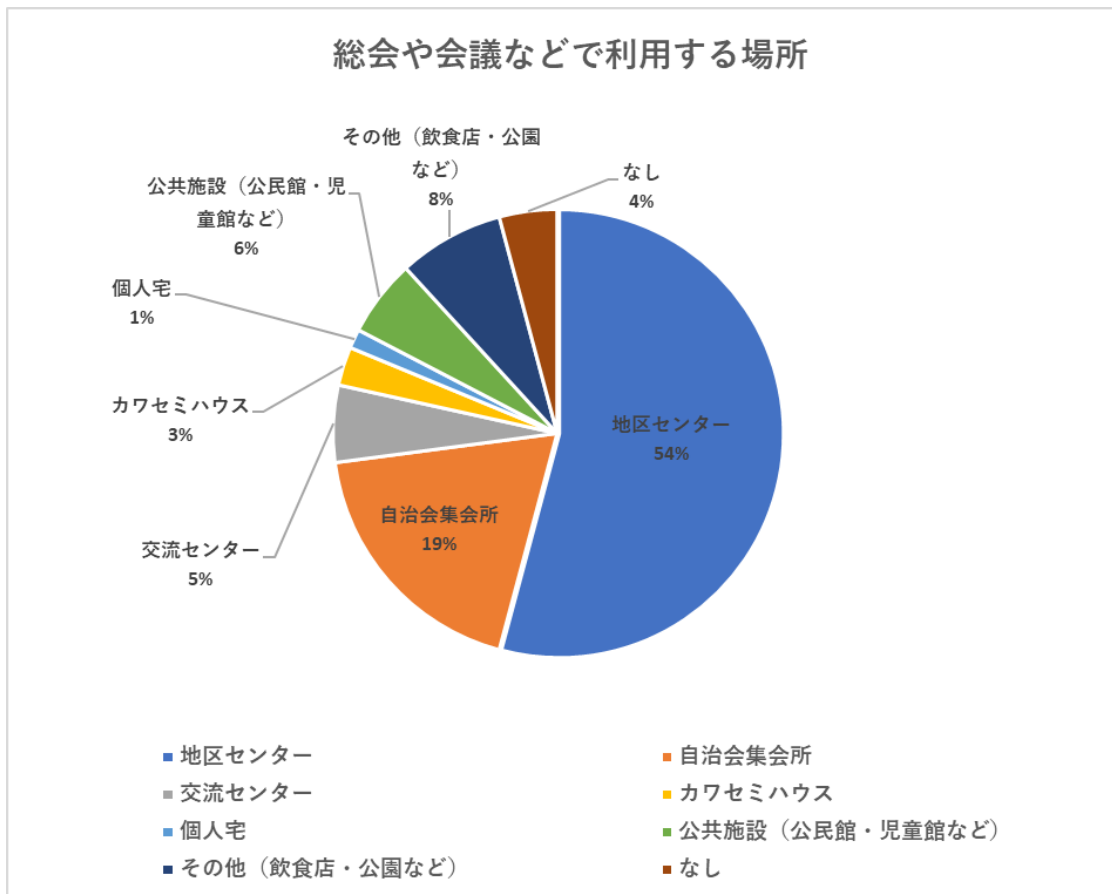
会長の選出方法は「役員の中で互選」が最も多くなっています。次に多いのが「輪番制」となりますが、会長の選出方法は自治会活動の大きな課題となっているようです。

問4：自治会活動に参加している年齢層についてお聞きします。



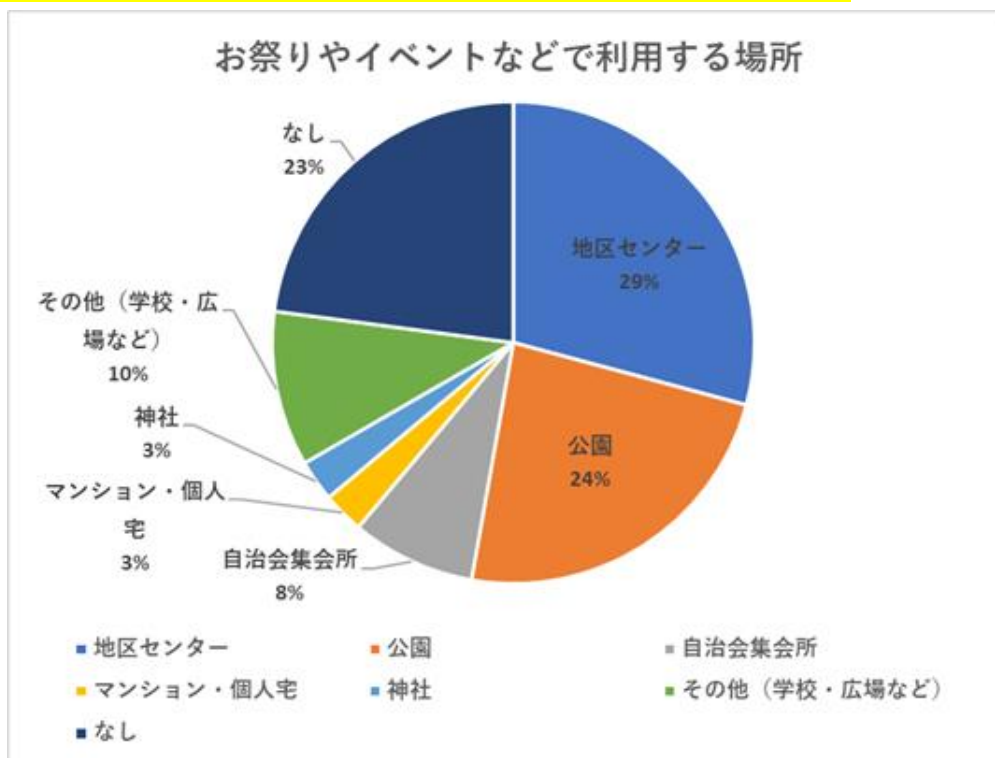
自治会活動に参加する年齢層は、30代を過ぎると、参加率が高くなる傾向にあります。20代以下も少なからず参加があり、年齢に偏りはありますが幅広い世代が活動に参加しています。

問5：総会や会議などで利用する場所についてお聞きします。



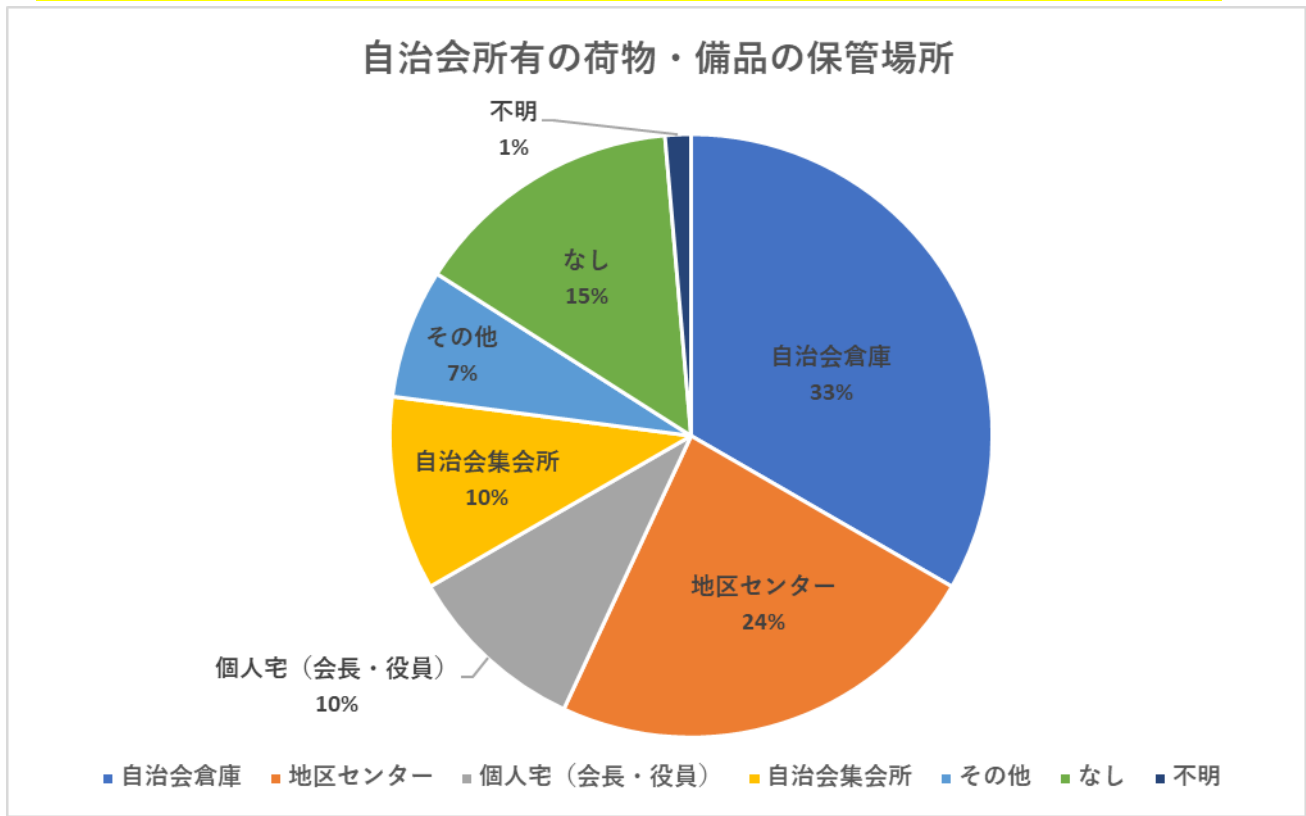
全体の半数が「地区センター」を利用して総会や会議が行われています。また、飲食店や公園などを利用している自治会も見受けられます。

問6：お祭りやイベントなどで利用する場所についてお聞きします。



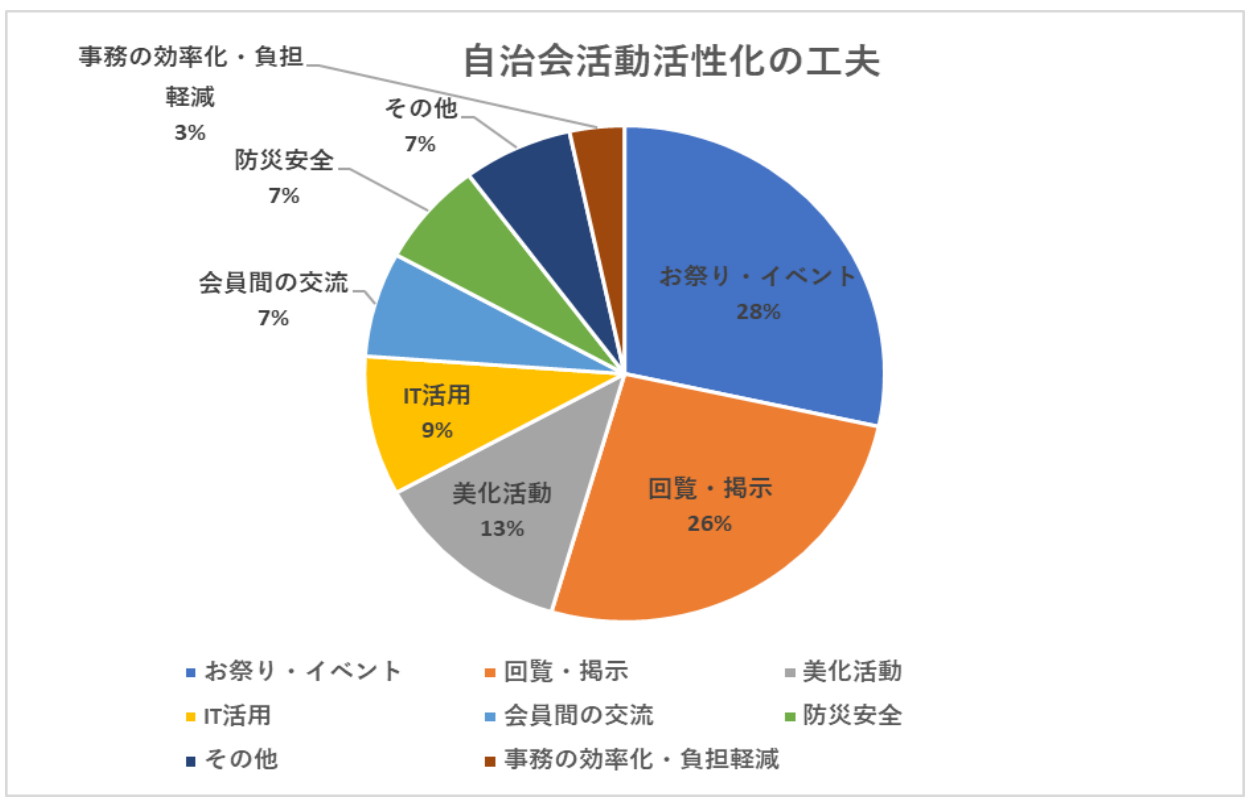
「地区センター」や「公園」などで、イベントを実施している自治会が多いです。「なし」の回答には、コロナが収束したらイベントを実施したいという自治会も含まれています。

問7：自治会所有の荷物、備品の保管などで利用する場所についてお聞きします。



各自治会で所有する「自治会倉庫」と「地区センター」内にある自治会スペースにて荷物・備品を保管するところが過半数を占めています。また、備品以外の書類等は「会長宅」で保管している自治会も見られました。

問8：自治会活動の活性化のための工夫についてお聞きします。（自由記述）



自治会活動の活性化のために工夫していること。

老人会の発展育成を中心に各種のクラブを作り、一年中地区センター、公園を活用して健康、趣味、人の交流、自治会主催のクラブ等の活動をしている。

- ① 盆踊り、どんど焼き、作品展等で会員のコミュニケーションを図っている。
- ② 敬老、成人の日に贈り物を贈呈して会員の参加意識を向上。
- ③ 町内清掃、防災訓練（自助）実施。
- ④ 月1回覧で自治会・幹事会の報告を実行。

- ① 会員拡大の為、東京都の助成金を使いアピール活動
- ② 自主防災会の訓練等
- ③ 親睦活動（盆踊り、祭り）のお誘い

自治会だより、組内交換日記、都度のアンケートなどで会員の声を聴いている。

オンラインの積極的な活用。

自治会ホームページ利用による情報提供。

- ① 役員間でLINEグループを作り、情報のスピーディな共有を行っている。
- ② 自治会会員からの意見や提案を求めるためにメールアドレスを設定。
- ③ 役員会議事録回覧にカラー写真を入れ目を引き分かりやすくした。

月1回の掃除日に皆さんに向けて対面でお知らせ、また何か困り事がないか、声掛けしている。

定期的に自治会ニュースの発行。月2回 夜の見回りパトロール。月1回 会議の開催。救命救急講習会の開催（その場で、認定証を発行）。オクトーバフェストやウィンターフェスティバルの開催。班単位での懇親会。映画上映会。近隣の情報提供。

- ① 話を聴く機会を作る。
- ② 少なくとも班長さんとよく話し合う。
- ③ コミュニケーション作り。

会員、非会員等にアンケート配布意見集約、地区センター玄関前への投書箱設置による意見・要望集約等。

- ① 東京都助成金による高齢者向けスマホ教室。
- ② 夏祭り中止に伴い、規模縮小による秋ないしは冬の祭り開催。

おまつり、じゃがいも掘りなどのイベントを開催して、新規会員加入の勧誘をしている。役員の負担を軽くすべく業務分担。

以前は、防災訓練を含めたAED講習会を実施。

自治会会員にメールとグループLINEで月2回程度、回覧板等の案内、イベント等の案内を実施  
ネットワークを利用したメール連絡、Zoom会議、講演など。

- ① 機関誌（理事会便り）の毎月発行。
- ② 敷地内の芝刈り、市の一斉清掃の周知。
- ③ 防災訓練（ただしコロナで最近未開催）・安否確認訓練

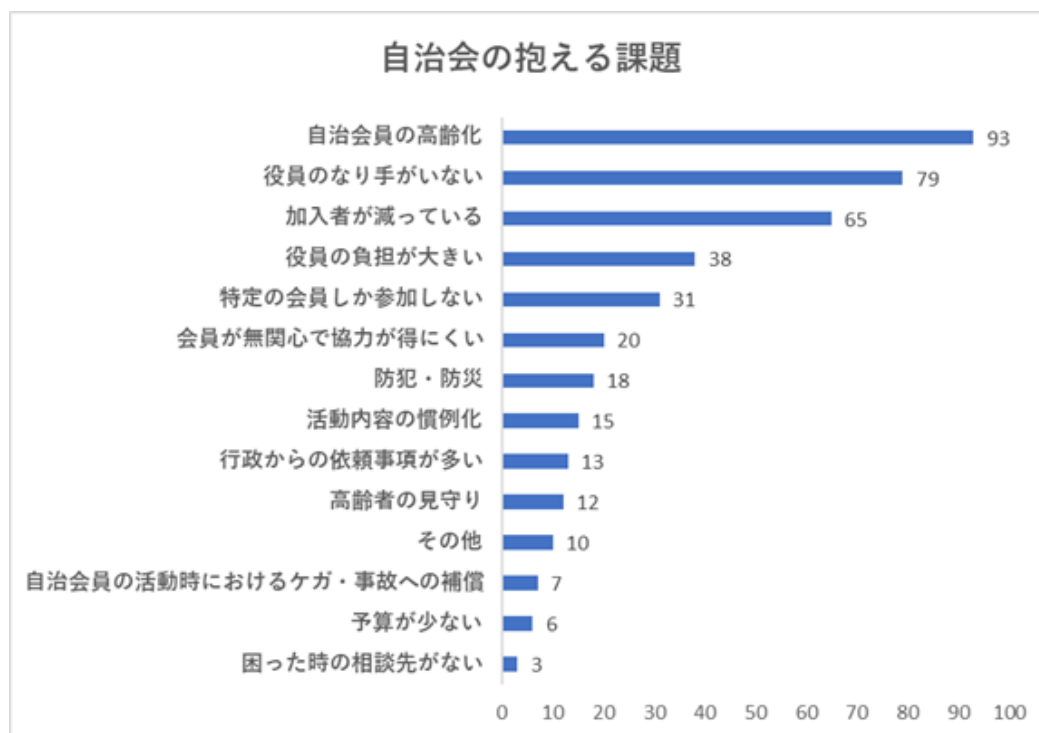
役員全員に担当を持ってもらう。

組長会(10回/年間)開催と組長会報告の会報発行による情報共有に努めている。

コロナ禍で防災訓練を中止したため、都の助成金を利用し防災グッズを購入し会員に配布し、防災意識を高めた。

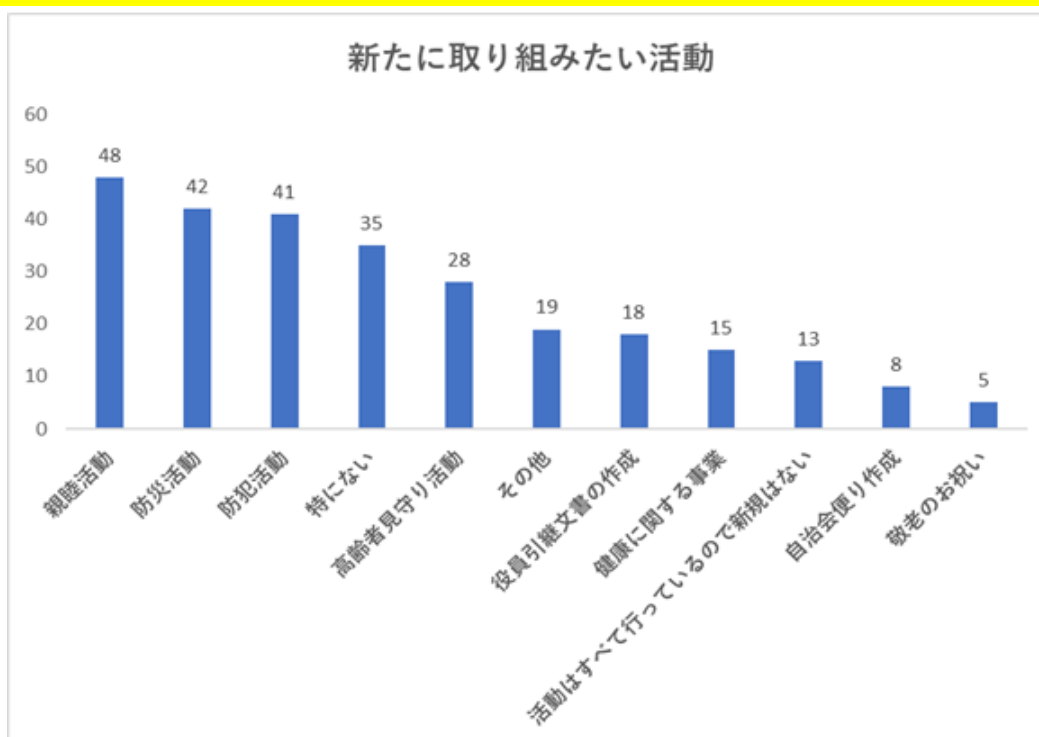
子どもからお年寄りまで気軽に参加できるような催しを企画し、積極的に周知を行っている自治会が多いという内容になりました。また、各自治会でオンライン会議やLINEグループを活用するところが増えてきており、自治会の事務効率化、負担軽減につながった取り組みが行われています。

問9：自治会の抱える課題についてお聞きします。（上位3つ選択）



自治会の抱える課題は多種多様ですが「会員の高齢化」「役員のなり手がいない」と役員に関することが上位を占めています。

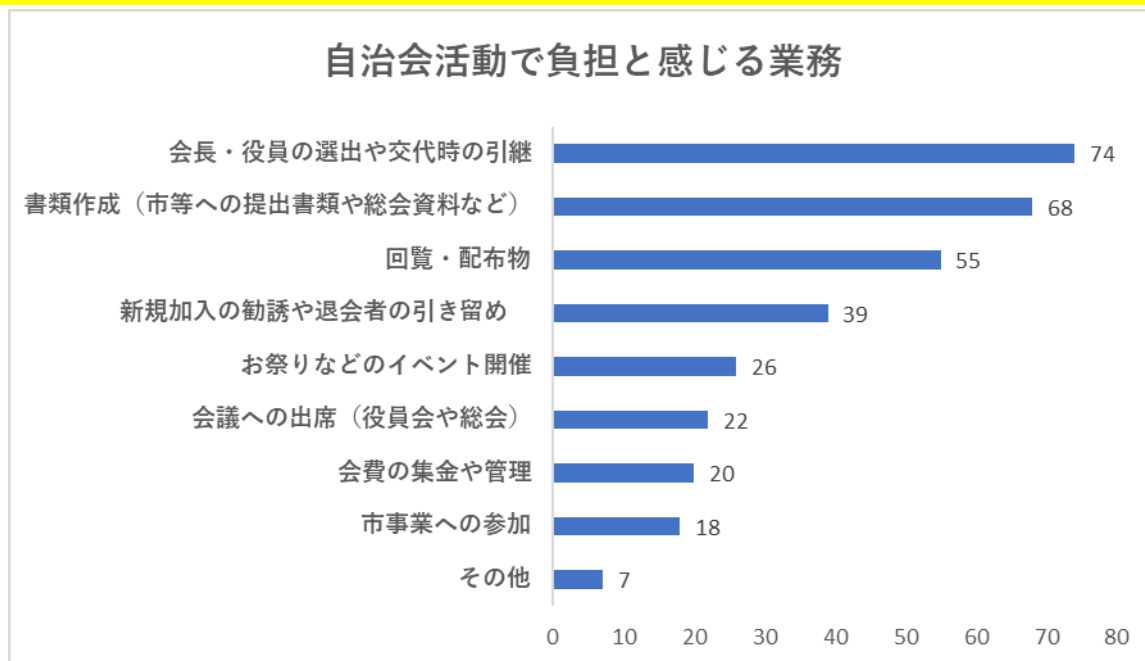
問10：自治会で今後新たに取り組みたい活動についてお聞きします。（上位3つ選択）





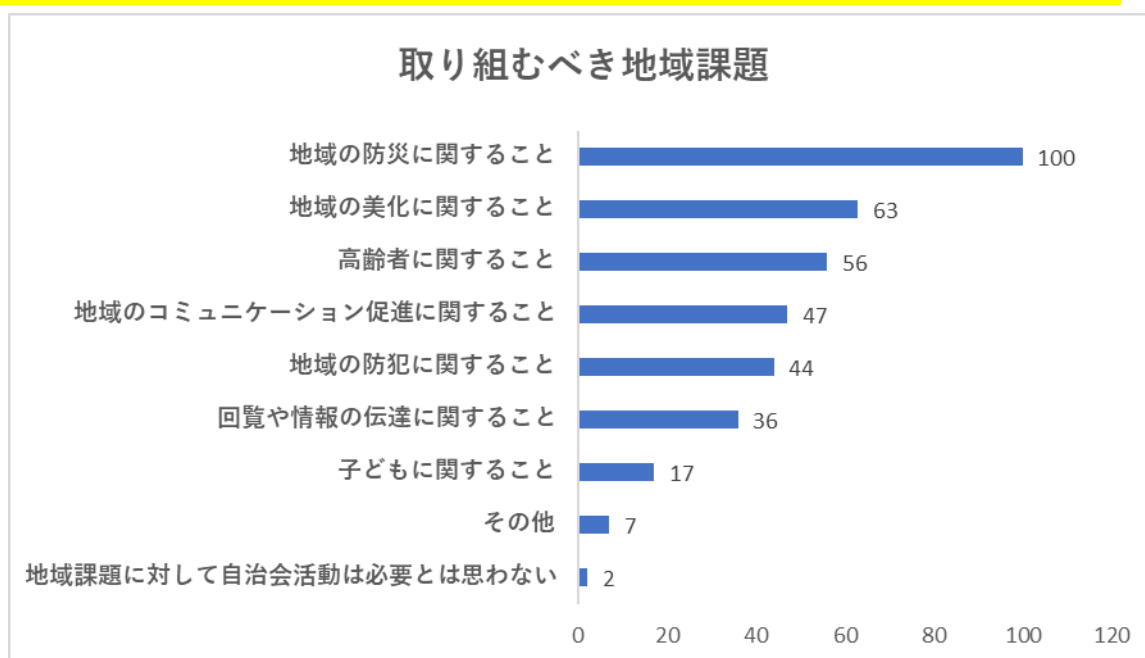
「親睦活動」が最も回答が多い結果になりました。今年は、コロナ禍においてもイベントを開催する自治会も増えてきており、住民同士の直接的な交流を図っている傾向にあります。また、例年通り「防災・防犯」への関心の高さがうかがえます。

問1 1：活動を行うにあたって負担と感じる業務についてお聞きします。（上位3つ選択）



引継ぎ、書類作成、回覧など「役員事務に関する業務」が上位を占める結果になりました。事務の効率化・負担軽減を見直していくため、積極的にIT化を取り入れる、行政とうまく連携したいといった意見がありました。

問1 2：自治会で取り組むべき地域課題についてお聞きします。（上位3つ選択）



## 【その他】

地域の伝統・文化を守っていくには、自治会の役割が大きく果たしてきたと思うが、秋祭り等も喜び、感謝するではなく当事者意識もなく外野で楽しむのみの人が増えて来た事が問題。

自主的に活動する人をどうサポートするか、やりやすくする。

顔見知りを多く作る事。

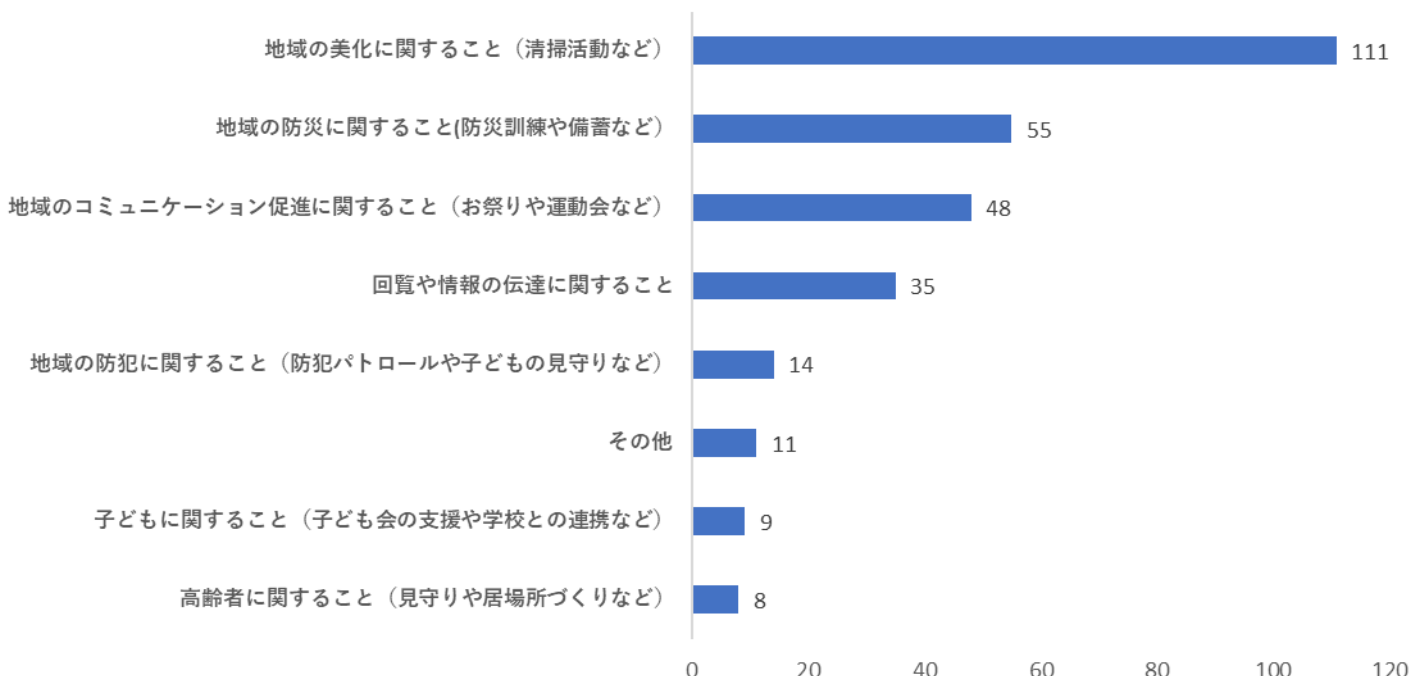
自治会の高齢化問題：60年経った当自治会は全戸2階建て持ち家で、子どもが成長し独立して出ていき、高齢化が進み、又マンションもなく若い人が入居することもないので若い自治会員がいません。（今後問題です）

子どもさんのいる家庭が自治会から退会される件が多いので、地域活動の活発化が難しい。

いつ起こるか分からない地震などの災害に備えて危機意識が生まれ、防災が重要な地域課題だと考えている自治会が増えています。また、高齢者の見守りや居場所づくり、会員のコミュニケーション促進に関する課題に関しては、地域での清掃活動や防犯に関する催しを行っていくことで解決に向けた糸口に繋がるのかもしれませんが。

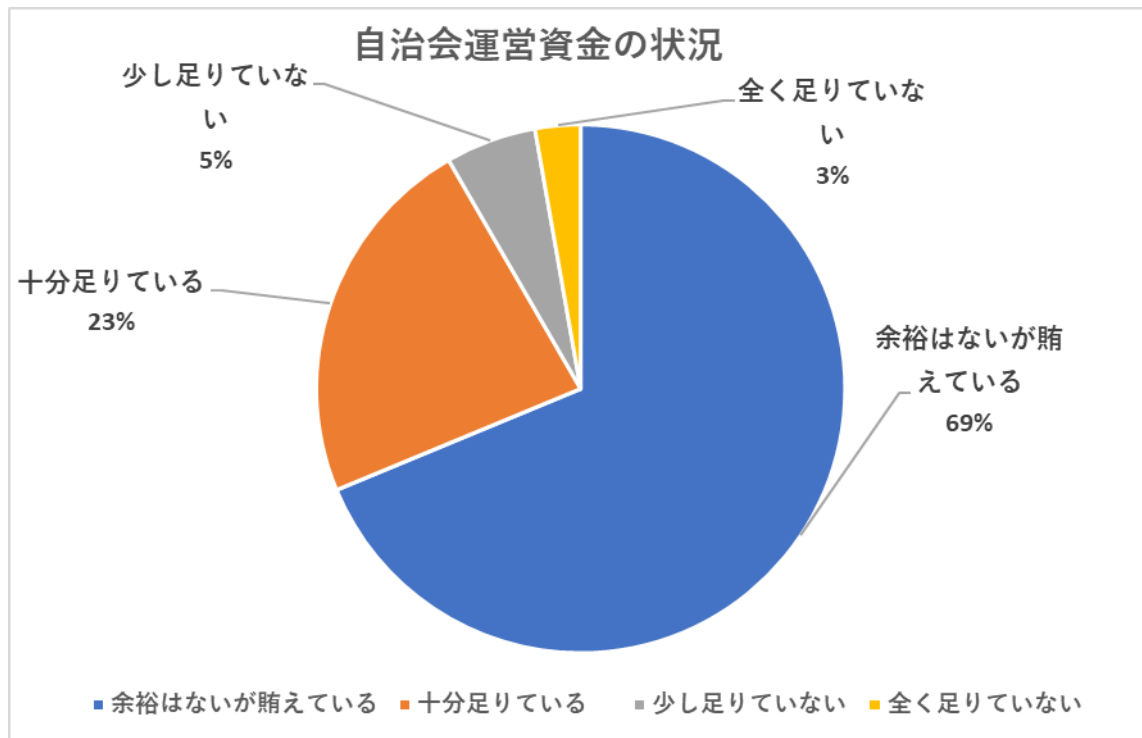
### 問13：自治会の活動で、会員の参加率が高い活動についてお聞きします。（上位3つ選択）

#### 参加率が高い活動



清掃活動など「地域の美化に関する事」の参加率が高いことがわかります。お祭りなどのイベントは実施していないが、毎年、清掃活動は必ず行っているという自治会の回答がありました。また、その他意見として「総会」には多くの会員が参加するとの意見もありました。

問14：自治会の運営資金の状況についてお聞きします。



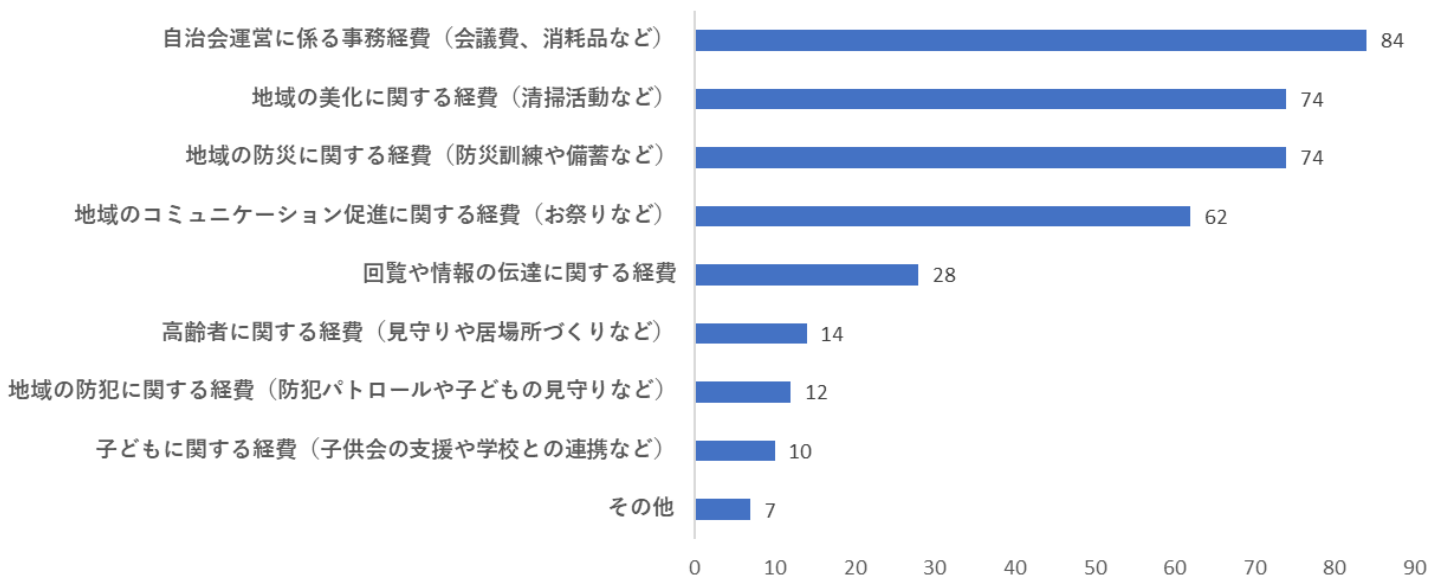
「運営資金は賄えている」と回答した自治会は約92%となりました。会費と行政からの補助金で運営資金をうまく活用している自治会が多いようです。

問15：問14で「活動資金が足りない」と回答した自治会にどのような資金が足りないのかなどのご意見をお聞きしました。（自由記述）

① 自治会費を値上げすると退会者が出て。これ以上値上げできない。
② よって地域コミュニケーションイベント開催の運営費用不足によりイベントがマンネリ化している。
③ 新規加入者勧誘。
④ インターネット活用による情報の伝達する資金と技術がない（HP 作成等）
活動すればするほど資金は必要。よって抑えている。不足分は資源物回収で資金で補充。
防災関連。
自治会入会者への特別優遇資金（入会者を増やすため）
公共設備の修繕費用。
全体の活動資金 夏祭りをやってないので寄付が無い
敬老のお祝いをする際、高齢者が多く、また会員が少ないので、1世帯当たり1件としてお祝いをしている。お一人ずつお祝いしたいが、賄えなくなるので個人にお祝いできない。
年会費が少なく増額したいが賛成が得られない。敬老のお祝い品の額。
除草、排水（雨水）ますの清掃、除雪。高齢者が多くボランティアの心があっても出来ない。業者へ依頼する費用。
自治会活動用の備品を補充、充実できない。

問16：自治会補助金の主な用途についてお聞きします。（上位3つ選択）

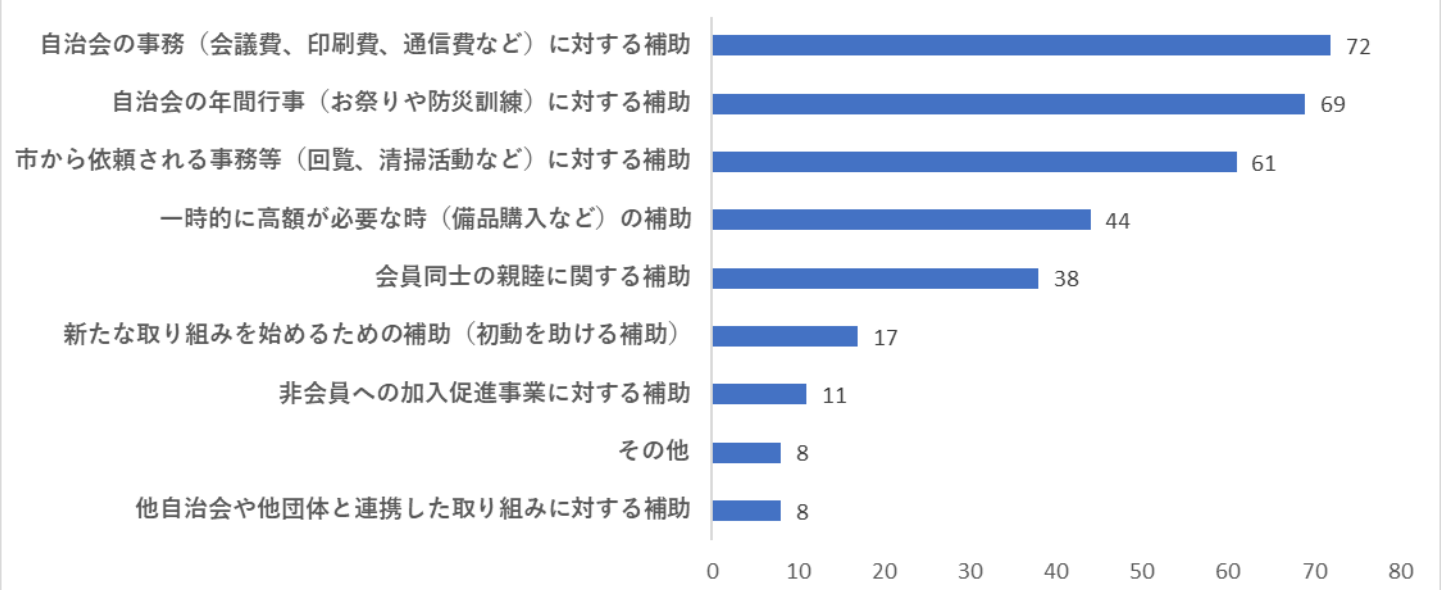
### 自治会補助金の主な用途



運営に関わる事務経費が最も多い回答とはなりますが、次いで、防災、美化、お祭りなどのコミュニケーション促進経費といった自治会独自で行っているコミュニティ活動費などが多くの回答を占めました。

問17：特に補助金の必要性を感じている内容についてお聞きします。（上位3つ選択）

### 特に補助金の必要性を感じている内容



「自治会運営に係る事務費用」「年間行事や会員同士の親睦に係る費用」「市から依頼される事務費用」の補助を必要とする回答が多い傾向になりました。

自治会アンケート調査のまとめについて

発行日 令和4年11月

編集・発行 日野市企画部地域協働課

〒191-0011

日野市日野本町1-6-2

日野市生活・保健センター内

TEL. 581-4112